

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 22 日(金) 18 時 00 分～ 20 時 00 分		
開催場所	安城まちづくりセンター（弥栄）	参加人数	4 人
出席議員	笹田副議長 森谷議員 沖田議員 （傍聴）串崎・川神議員		
テーマ別に 出た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ ・ 弥栄地区における自主防災組織は 20 団体以上ある。限界集落もあつたりするので 1 集落 1 団体と言う訳ではない。 ・ 泥落とし祭の時に合わせて避難訓練を行っているのが実情であり、組織の実態は名ばかりの組織が多いのが現状。この問題は弥栄地区のみならず市内における防災組織でも課題だと思っている。 ・ 58 年、62 年の水害に見舞われた地域では防災意識は高いが、それ以降に弥栄地区では大きな災害は起きてはいない火災も 1 年半近く起きていない。		
	【文教厚生委員会】子どもや高齢者の暮らしの困りごと ・ 弥栄でもコミュニティ交通の話が持ち上がるが実現には至らない。理由は責任の所在であるとか運転手の確保。 ・ 7 年度、初めてあいのりタクシー等運行支援事業の補助額を上限まで使った。今後も利用が増えれば現状の 80 万円では足りない。運行費用の立て替え払いが負担にもなっている。		
	【産業建設委員会】100 年先に残したい浜田の食 ・ ちまき、柏餅、盆団子、うずめ飯、角寿司、朴（ホウ）の葉おむすび（おにぎりの中に黒豆を煮たものを混ぜたもの）など。何れも田植えの後や祭り、その他の地域行事の際に振舞われた食べ物。合理化が進む中で各家庭で親戚や客人を招く習慣がなくなる中で作られることも少なくなっている現状はさみしく思う。		
自由意見	【総務委員会】 ・ 弥栄の出身者が都会から U ターンを希望しても手ごろな空き家物件が弥栄地区にないため、旧市内に居住するケース		

	が多い。 ・ 空き家を手放せないことも移住定住に繋がらない要因。
	【文教厚生委員会】 特になし
	【産業建設委員会】 ・ 遊休農地の貸し借りが簡単にできる仕組みが構築されれば耕作放棄地の減少にもなるし、農業従事者の増加にもつながるように思う。 ・ 農業は多額の初期投資が必要なうえ儲からないので小規模農家を続けていくことは困難である。 その他 ・ 井戸端会議に参加する人が少ないことが困りごとです。

令和 8 年 5 月 22 日 沖田真治